

天王森泉公園 生き物調査と自然観察会 6月

2022.6.13 (火) 晴れ
参加者 17人 9:00~14:00

梅雨空の1日だけの晴れ間、たくさんの観察者が集まってくれました。たくさんの目があると、いろいろなものが見つかりました。

コース 野の花苑—見晴らしの丘—くわくわ森—森外周道路・側溝—田んぼ—俣野遊水地

※ 外来種は外園芸種は園とつけました。

野の花苑

野の花苑では、虫袋が満開です。虫袋と山虫袋が混ざって咲いているので比べて見てください。



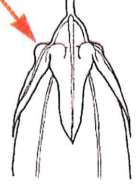
めくれ上がる



虫袋 ホタルブクロ



ふくらむ



山虫袋 ヤマホタルブクロ



島山吹升麻 シヤママブキシヨウマ



花忍 ハナシノブ



九蓋草 クガイソウ



黄釣船 キツリフネ



メドーセージ園 蝶の蜜源



スケトシア園 蝶の蜜源



クレマチス園 タネ



伊予葛 イヨカズラ



駒繫ぎ コマツナギ



岡の尾 オカトラノオ



真勿忘草 シンワスレナグサ外



溝酸漿 ミゾホオズキ



イタチタケ



ヒダナシタケ
キノコを観察するときは、このように手鏡で傘の裏も確認します



烏柄杓 カラスビシャク



半夏生 ハンゲシヨウ

弁天坂～見晴らしの丘



照り葉野茨 テリハノイバラ



猿取り茨 サルトリイバラ



蛍袋 ホタルブクロ



紫式部 ムラサキシキブ



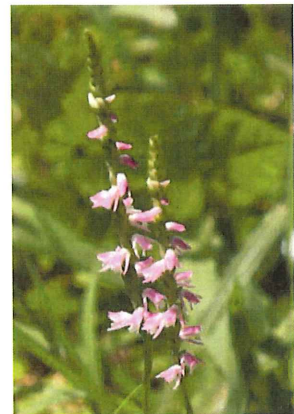
八重葎 ヤエドクダミ 園



クリロイグチ ブナ科の林に発生、毒ではない



渦紫陽花 ウズアジサイ 園



振花 ネジバナ



雛桔梗草
ヒナキキョウソウ 外



金糸梅 キンシバイ 園



姫女苑 ヒメジョオン 外



赤詰草 アカツメクサ 外



山法師 ヤマボウシ実

くわくわ森



馬の三葉 ウマノミツバ



接骨木 ニワトコ実



蠅毒草 ハエドクソウ



夏菜実 ナツグミ実



山百合 ヤマユリ
くわくわ森の山百合は、一昨年までは 120 株あっても 1/4 程度の花付きでした。今年はほとんどの株に蕾がついています。花を咲かせるには陽の光が必要となります。カシナガでコナラなどを伐採したためギャップができ、森に光が入りました。伐採は悲しいけれど、嬉しさもありました。

浦島草 ウラシマソウ実
筒状の大きな苞の先が、釣り糸のように伸びているので、浦島太郎の釣り糸として浦島草。森のある株のほとんどは雄株で、成長して大きくなると雌株に転向して実をつけます。写真矢印の先にあるのが実で、秋になると矢印の色のような赤色になります。



森外周道路



アワタケ イグチ科
毒ではないけれど食用にも向かないようです。傘の内側は黄味を帯びた白色で、傷がつくと青っぽく変色するそうです。試したところ、変色しました。



苗代苺 ナワシロイチゴ

森西側側溝

この側溝はゲンジボタルが生息しているので、草刈りなど生き物に合わせて行なっています。今年は時期がずれて草刈りが間に合わず、モサモサになりました。それでも蛍袋は元気に咲きました。



姫楮 ヒメコウゾ



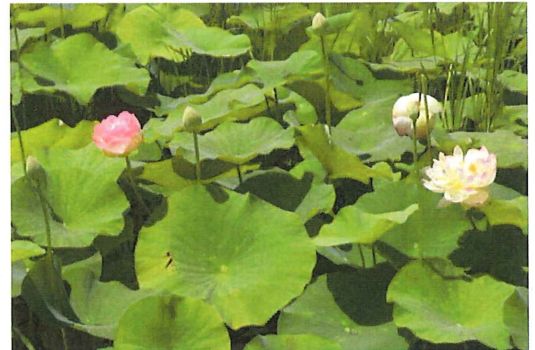
溝酸漿 ミゾホオズキ
花の周囲の実が鬼灯に似ているので

田んぼ周辺



藪枯らし ヤブガラシ 直径5mmほどの緑の花弁はすぐ落ちオレンジ色の花盤が目立ちます。蜜が多く長などの蜜源。

蓮 ハス
弁天宮の前の田んぼ脇、「ゆめたま農園」のハスが見頃です。珍しい八重咲きで、たくさんの蕾をつけています。花が開いて4日間の間に開閉して終わります。早朝の方が花が綺麗に見えます。



俣野遊水地



子持ち万年草 コモチマンネフサ 在来種で葉の基部に「むかご」をつけるので子持ちの名がつく。



松葉芹 マツバゼリ 外
熱帯アメリカ原産、セロリのような匂いがある。



砥草 トクサ 常緑のシダ植物 茎は中空で節がありそこには退化した葉がある、先端は孢子穂。茎で物を研ぐので砥草。



穂咲マンテマ 外
欧州原産 ナデシコ科 高さ 20-30cm の越年草。

和泉川沿い



合歓木 ネムノキ



熊野水木 クマノミズキ



継子の尻拭い ママコノシリヌグイ

咲いていた花・実

野の花苑—ツユクサ、クサノオウ、カワラナデシコ、トウバナ、ペラペラヨメナ、ミヤコワスレ
くわくわ森—マユミ実、エゴノキ実、ガマズミ実、イボタノキ実、スイカズラ、キダチコマツナギ、
ヤブラン、ヨウシュヤマゴボウ、サツキ

田んぼ—ネジバナ、ノミノツズリ、コバンソウ、アメリカフウロ、ノボロギク

遊水地—ニワゼキショウ、ヘラオモダカ、ヘラオオバコ、ナヨクサフジ、クスダマツメクサ、

昆虫・その他

野の花苑



クロウリハムシ
5.8-6.3mm



キマダラセセリ
2.5-3.2mm



モンキゴミムシダマシ
5-7mm キノコを食べる



ベニシジミ
25-35mm



スジグロシロチョウ
50-60mm



カマキリ幼虫 40mm



ナミハナアブ
11-15mm



ササグモ♂ 7-9mm



キアゲハ 70-90mm



コオニヤンマ 75-93mm



ホシベニカミキリ
18-25mm



ニホンカナヘビ
160-270mm
尻尾の色が違って
います。
途中で切れて、
新しく生えて
きたのでしょう。

弁天坂～見晴らしの丘



ムラサキシジミ
30-40mm



ツバメシジミ
20-30mm



ヤマトシジミ
20-30mm



アカサシガメ
14-17mm



セイヨウミツバチ
12-13mm



ミドリイエバエ
8-10mm



マダラホソアシナガバエ
5-6mm



エゴノネコアシフシ
エゴノキの葉が変形し
中にアブラムシがいっぱい



アオオビハエトリ
5-6mm



アズマカニグモ
10mm

くわくわ森



サトキマダラヒカゲ
50-64mm



ナガメ幼虫
8-9mm



アゲハ (ナミアゲハ)
65-90mm



クワサビカミキリ
6-10mm



チャボヒゲナガカミキリ
9-12mm



ヒシバッタ 10mm



冬虫夏草 (キノコ) オサムシタケ キノコが生育しそうな、陽のあたらない湿った場所で見つかりました。植物に入れるか昆虫に入れるか迷いましたが、外見から昆虫の方に持ってきました。地面の中に左写真の状態で見つかりました。アオオサムシの成虫に冬虫夏草の菌が取り付き、ある時虫を殺してそこからキノコを出します。

くわくわ森西側側溝



この側溝にはゲンジボタルが住んでいます。以前は5月中旬から数十頭のホタルが飛び交いましたが、LEDの街灯の強い光で飛び交うことができず、繁殖ができません。昨年は5、6頭しか見られなかったのですが、今年は15頭は見られました。見られたと言っても草の奥で光っているだけで、飛びまわりません、LEDの光を生物に優しい光に変えたいです。



ムラサキシラホシ
カメムシ 5-6mm



ヨコヅナサガメ
16-24mm



ナミテントウ
4.7-8.2mm



ナナフシモドキ
70-100mm 触角短い



セグロカブラハバチ
7-8mm



ホタルガ 30mm



キマワリ 16-20mm



マルカメムシ
4-5mm クズにつく



モンシロチョウ
35-45mm



ミスジマイマイ
30mm



ニホンアマガエル
35mm

4~6 月はホタルの発生時期なので、側溝の草刈りを中止したところ、多くの生き物がいました。

俣野遊水地

田んぼ・俣野遊水

地で見られた昆虫

ギンヤンマ、シオカラトンボ、セイヨウミツバチ、カタテ



キンケハラナガツチバチ♀
16-27mm



キタキチョウ
35-45mm



アメリカザリガニ
100mm

野鳥



電線でさえずるウグイス



頭は見えないけれどさえずるホオジロ



遠くではっきりしなかった猛禽類



スズメの幼鳥 くちばしが黄色い



水浴びをするシジュウカラ



田んぼを歩くハクセキレイ

見聞きした野鳥

ヒヨドリ、ガビチョウ
ムクドリ、カワセミ
モズ♀、



飛ぶカルガモ



エサを飲み込んだアオサギ